

## 診療報酬改定動向等を踏まえた今後の医療機能のあり方等に関する調査結果（御坊圏域）

調査時期	平成30年5月（回答期日/平成30年6月6日）
調査対象	県内各病院（精神単科の病院を除く）、有床診療所 御坊圏域（国保日高総合病院、和歌山病院、北出病院、整形外科北裏病院、紀伊クリニック、 <u>※休止中の寺田医院（由良町）は調査対象外</u> ）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非稼働病床についての今後の予定</li> <li>・将来目指す方向性</li> <li>・当面予定する機能転換の予定</li> </ul>

### 問1 貴院の医療機能等の現状について

#### 回答1 特段の状況変化の有無及びその内容

（平成29年7月1日から平成30年4月1日）

国保日高総合病院	有・無	病床機能報告の『(2) その機能を担っていると判断した具体的な理由』にも記載しているが、平成29年9月より3階病棟を回復期リハビリテーション病棟に機能転換している。 また、機能転換に伴い急性期1床を返還したため、平成30年4月1日時点の状況は、高度急性期：8床、急性期183床（感染症4床を除く）、回復期：82床、精神100床の全373床に変更している。
和歌山病院	有・無	—
北出病院	有・無	—
整形外科北裏病院	有・無	—
紀伊クリニック	有・無	—

#### 《参考①》

病床機能別の許可病床数（平成30年4月1日現在）

※重心163床を除く。

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
国保日高総合病院	8	183	82		273
和歌山病院		85		※47	132
北出病院		90	41	51	182
整形外科北裏病院		100			100
紀伊クリニック		18			18
寺田医院（※休止中、19床）	—	—	—	—	—
合計	8	476	123	98	705
2025年の必要病床数	20	210	191	234	655

## 問 2 非稼働病床について

### 回答 2-① 非稼働病床に係る今後の廃止等見込み

国保日高総合病院	—
和歌山病院	—
北出病院	—
整形外科北裏病院	—
紀伊クリニック	—

### 回答 2-② 非稼働病床の再稼働に係る今後の具体的計画

国保日高総合病院	—
和歌山病院	—
北出病院	—
整形外科北裏病院	—
紀伊クリニック	—

### 回答 2-③ 非稼働病床に係る今後の取扱いが未定の場合

国保日高総合病院	—
和歌山病院	—
北出病院	—
整形外科北裏病院	—
紀伊クリニック	—

### 《参考②》

非稼働病床の状況（平成 29 年 7 月 1 日現在）  
（平成 29 年度病床機能報告による）

	病床数	うち非稼働
国保日高総合病院	274	1
和歌山病院	295	4

### 問3 今後の病床機能のあり方等について

#### 回答3-① 将来目指すべき医療機能の方向性【病院のみ回答】

国保日高総合病院	[F]	<p>圏域の二次救急医療機関として、中等度以上の傷病に対応することが出来るため、救急医療を含めて高度急性期機能や急性期機能を担う病院として考えているが、御坊保健医療圏の中核病院として 2025 年に向け、高度急性期～回復期までの病床機能を担う責務があり、現状において不足している「回復期」機能を担う医療供給体制を強化するためにも、現在稼働している地域包括ケア病棟に加え、新たに開設した回復期リハビリテーション病棟を積極的に活用し、地域包括ケアシステムの一翼を担っていくと考えています。</p> <p>また、産婦人科や精神科といった特殊な医療機能を担う病院でもある。</p> <p>将来の地域ニーズに柔軟に対応できるよう、医療機能体制を引き続き検討していく。</p>
和歌山病院	[C]	<p>病床数から見て、神経難病及び重症心身障害児（者）、結核の受入を中心に行っていくことになると思うが、呼吸器疾患、慢性期の循環器疾患並びに乳がん患者の受入も継続して行っていく。</p>
北出病院	[F]	<p>現行、一般（7：1）が90床、回復期リハ1が41床、療養1が51床、計182床のケアミックスとなっている。</p>
整形外科北裏病院	[A]	

選択肢  
(一つを選択)

- [A] 救急医療を含めて高度急性期機能や急性期機能を担う医療機関
- [B] 在宅医療の後方支援の役割を担う「地域密着型協力病院」等
- [C] 主として療養病床を有する医療機関
- [D] 主として「介護医療院」を有する医療機関
- [E] その他、A～Dに区分されない特殊な医療機能を担うもの  
(例：産科、透析、精神科、障害者医療 等)
- [F] その他「ケアミックス型」

#### 回答3-① 将来目指すべき医療機能の方向性【診療所のみ回答】（複数回答可）

紀伊クリニック	[a] 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受渡し機能	<input type="radio"/>	<p>病院で出来ること、診療所の出来ることを明確にしていける必要があるように感じています。</p> <p>病院の補助役、専門医療の追求等ですが、正直なところ、当診療所は現在模索中です。</p> <p>介護、地域、ベッド、様々なことについて和歌山県の現状、御坊の現状を冷静に見、判断ではなく決断していかないとはいけません。危機感をとても感じています。</p> <p>※短期入所療養介護 検討中</p>
	[b] 専門医療を担う機能（透析、産科など）	<input type="radio"/>	
	[c] 救急に対応する機能	<input type="radio"/>	
	[d] 在宅医療の拠点としての機能	<input type="radio"/>	
	[e] 人生の最終段階における医療（終末期医療）を担う機能	<input type="radio"/>	

#### 問 4 今後の病床機能転換等について

##### 回答 4-① 今年度内（平成 31 年 3 月末まで）の病床機能転換予定（検討）

国保日高総合病院	予定（検討）していない
和歌山病院	予定（検討）していない
北出病院	予定（検討）していない
整形外科北裏病院	予定（検討）していない
紀伊クリニック	予定（検討）していない

##### 回答 4-⑦ その他（施設の建替え予定や機能転換に係る意見等）

国保日高総合病院	<p>現時点では明確な病院建替えや機能転換についての予定は存在しませんが、南海トラフ巨大地震等の大規模災害時には管内の 3 病院が被災し、救急医療の提供が不可能になる見込みです。</p> <p>地域住民や入院患者、医療関係職員の方々の安心・安全を考慮した時に、御坊保健医療圏の医療を守っていくためにも、病院建替に伴う機能転換も含め管内 4 病院はもちろん、県も含めて話し合いを行う必要があると思われる。</p>
和歌山病院	
北出病院	
整形外科北裏病院	
紀伊クリニック	

#### 問 5 他の医療機関との連携の検討について

##### 回答 5 他の医療機関との連携の検討内容

国保日高総合病院	<p>他の医療機関との連携では、現在、国立病院機構和歌山病院とはがん患者の放射線治療でのリニアックによる治療を行うため、連携を行っている。</p> <p>今後、医療圏域内の民間病院である北出病院や北裏病院とも、さらに連携を深めていきたいが、直近での検討している連携はない。</p> <p>しかしながら、長期的な展望としては、地域医療構想の実現に向けて、並びに南海トラフ巨大地震等の大規模災害時には 3 病院が被災し機能しなくなる見込みであり、地域住民や入院患者、医療関係職員の方々の安心・安全を考慮した時に、管内 4 病院が各々どのような方向に向けて進んでいくかは未定であるが、その選択肢として、地域医療連携推進法人化なのか、複数病院による合併に伴う高台移転なのか。今後、地域だけでなく、県に対しても働きかけていく必要があると思われる。</p>
和歌山病院	<p>地域医療構想調整会議において、御坊医療圏の懸案点として、国保日高総合病院と和歌山病院との間の連携を更に検討するよう、指導を受けていた。これに対し、循環器内科領域に関し、高度急性期を日高病院で、その後の急性期から慢性期を和歌山病院が担当することで、両病院間での合意を得て、当院に循環器内科医 2 名を採用し、連携体制構築に向け進めている</p>
北出病院	<p>医師が増員されるなら、地域の開業医と連携して、往診等、在宅にも力を入れていきたい。</p>
整形外科北裏病院	
紀伊クリニック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院が受けきれない部分の補助</li> <li>・在宅復帰機能を活用いただく</li> <li>・最大限に利用してもらいたい</li> <li>・日高広域唯一の当診療所の立ち位置、必要性を皆様からご助言、ご指導いただきたい。</li> </ul>

## 問6 自由意見等

### 回答6 病床機能の分化・連携等に関する意見・提言等

国保日高総合病院	<p>当院においては2025年に向け、今後も「高度急性期」「急性期」「回復期」機能を担う医療供給体制を維持するためにも、高度急性期については増床し、回復期についても地域包括ケア病棟に加え、新たに開設した回復期リハビリテーション病棟の運営・強化していく必要があります。</p> <p>また、昨年度は急性期病床を53床削減し、回復期病床を30床増床しましたが、御坊保健医療圏の病床数の必要量からみると依然として急性期病床が多い状況となっております。そのため、引き続き「地域医療構想会議」（協議の場）等で話し合いを行う必要があると考えています。</p>
和歌山病院	<p>御坊医療圏内の病院は、これまで比較的機能分化進んでおり、呼吸器疾患、乳腺疾患、神経内科疾患、慢性期循環器疾患、がん放射線治療等に関しては、当院が中心的施設として対応する。</p> <p>当院担当分野を中心に、国立病院機構の病院として、御坊地域の医療構想に貢献していきたいと考える。</p>
北出病院	<p>ベッドの削減は、人口減少により自然に稼働率の低下となってくるので、無理に進めるものではないと考えます。まず、非稼働ベッドを回収するだけでよいのでは？</p>
整形外科北裏病院	
紀伊クリニック	<p>18床の空床を利用し、短期入所療養介護を検討中です。現状、自宅に帰りたくても受け入れ不可な入院患者が多数おられます。（施設入居含む。）</p>